様式第１号（第８条、第９条関係）

事業者行動計画書 ~~（変更計画書）~~

2021年　　7 月　　29　日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所　（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

島根県松江市八幡町960番地

氏名　（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

ヤンマーキャステクノ株式会社　代表取締役　金井　保博

（代理人）　事業部長　和田　喜之

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第３項 ・ ~~第20条第４項~~ ~~第22条第１項~~ ・ ~~第22条第２項において準用する同条例第20条第４項~~）の規定に基づき、事業者行動計画を 策定 ~~（変更）~~ したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	ヤンマーキャステクノ株式会社 代表取締役　金井　保博
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	島根県松江市八幡町960番地

１　事業所の概要

事業所の名称	ヤンマーキャステクノ株式会社　甲賀事業部					
事業所の所在地	滋賀県湖南市柑子袋360番地					
主たる事業	細分類番号	2	2	5	1	鋳鉄鋳物製造業
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500ｷﾛﾘｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					

２　計画の内容

計画の内容	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第１号

（第１面）

１　計画期間

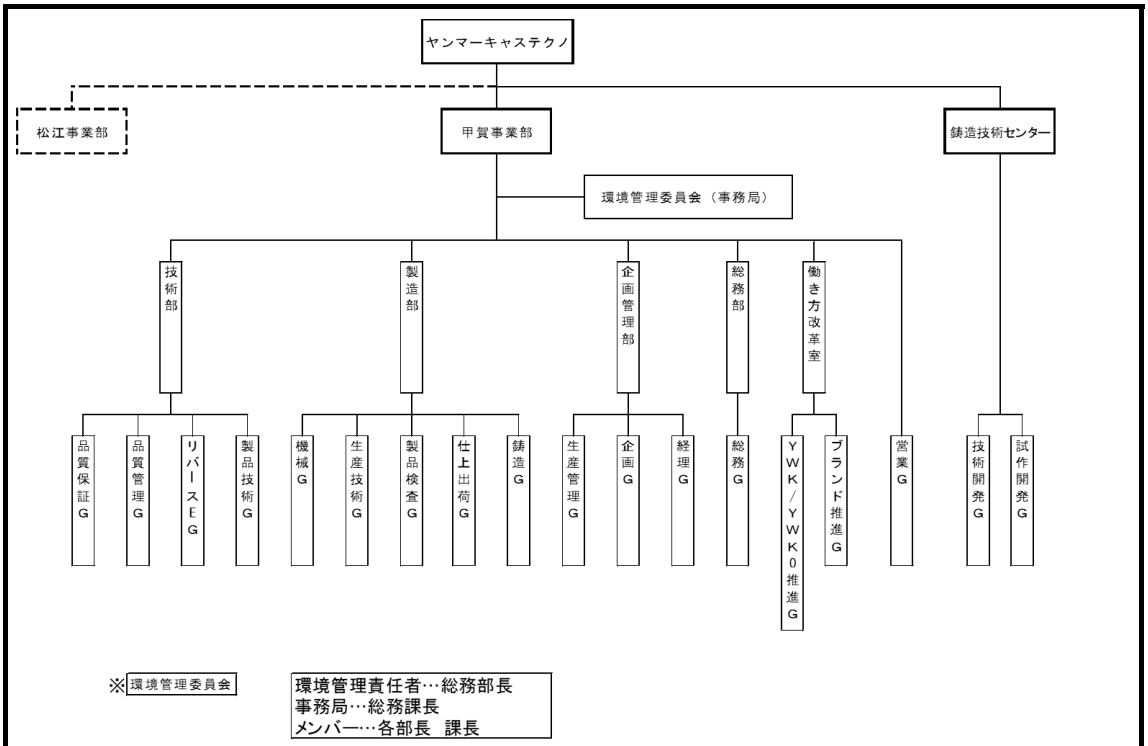
計　画　期　間	2021(R03)　　年度　～　　2025(R07)　年度

２　低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たちヤンマーグループは、世界のお客様との相互信頼のパートナーシップのなかでともに感動できる価値を創りつづけます。エネルギー有効活用の先駆者として資源循環型社会に向けてナンバーワン、オンリーワンの商品・サービスを追及しつづけます。グループとしての発展と地球環境保全との調和のとれた関係を構築することに努めることにより、社会の持続的発展に寄与します。経営方針にのっとり地球環境保全を与えられた自らの責務と考え、全社をあげて取り組みます。事業活動に当たっては、各段階において環境影響を適切に評価し、技術的・経済的に可能な範囲で環境負荷削減の目標を定め、環境保全活動・低炭素社会構築の継続的向上を図ります。

環境保全に寄与する技術を導入・確立し、環境にやさしい生産システムの構築を図り、汚染予防・エネルギーや資源の有効利用・廃棄物の削減・リサイクル化等環境負荷削減に積極的に取り組みます。

３　低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考　　組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

４　これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

○不良率の低減＝良品率向上により不良生産に係るエネルギーの低減
○可動率の向上による操業時間の低減
○製品運搬時の積載効率の向上
○方案歩留り改善による溶解量の低減
○エアーコンプレッサーの電力量について、エアー漏れの低減・効率的運転の実施
○キュポラ溶解から電気炉溶解への切替
○LPGから都市ガス変更による温室効果ガス排出量の低減
○昼食時の事務所の消灯の徹底
○照明機器のLED化による電力使用量低減
○休憩時間等工場内設備の電源OFFの徹底
○低圧集塵機及びブロアーのダンパー制御のインバーター化
○シリンダーヘッドの焼鈍レス化
○工場エアーの脱湿装置の導入
○コージェネレーション設備による電力量の低減
○冷却水ポンプの非稼働時のタイマー制御による停止

５　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

（１）エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実　施 スケジュール
1	運用対策	不良率の低減＝良品率向上により不良品生産に関わるエネルギーの低減	R03年度～ R07年度
2	運用対策	稼働率の向上による操業時間の低減	R03年度～ R07年度
3	運用対策	シリンダヘッドの焼鈍レス化の推進	R03年度～ R07年度
4	運用対策	電気炉の効率化運転(デマンド運転)コージェネ設備併用	R03年度～ R07年度
5	設備導入対策	照明機器(工場、更生棟)のLED化による電力使用量低減	R03年度～ R07年度
6	設備導入対策	高効率変圧器の更新	R03年度～ R07年度
7	設備導入対策	低圧集塵機及びブロアーのダンパー制御とインバータ化	R03年度～ R07年度
8	運用対策	コンプレッサーにエアドライヤー（ハイグロマスター）接続 非稼働時の冷却水ポンプのタイマー制御による停止	R03年度～ R07年度

（２）エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実　施 スケジュール
1	なし		
2			
3			

（３）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

$$\text{原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量（原油換算kl）}}{\text{良品重量（t）}}$$

鋳物製品は不良率の影響が大きく、エネルギー効率に多大な影響を及ぼす事から、
良品を作る為のエネルギー使用量により目標設定を行います。

エネルギーの使用に係る原単位　対前年度　1%　改善を目標とします。

６　事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

（１）取組の内容等

○ヤンマーグループが取り組んでいる地球環境へ貢献するエンジン部品に
さらなる原単位低減を目標として供給する素材を生産していく。

○環境負荷の低減に貢献する、新規排ガス規制適合の新型内燃機関の基幹部品となる
シリンダーヘッド・ブロックの製造供給及び機械加工。

（２）上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

○原単位　▲1％を達成して　二酸化炭素の発生量をさらに低減していく

○当工場にて製造している環境負荷低減に貢献する新型エンジン用の
鋳造部品を安定供給する。

7　その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実　施 スケジュール
1	3Rの推進	廃棄物の分別によるリサイクル資源の有効活用を推進	R03年度～ R07年度
2	敷地緑地化	構内敷地への植樹の推進	R03年度～ R07年度
3	グリーン購入	事務用品のグリーン購入	R03年度～ R07年度
4			
5			
6			
7			
8			